

2025年度 学校評価結果(保護者アンケートより)

2026年3月吉日
一宮市立尾西第三中学校長
岩井 政美
学校運営協議会

2025年度 学校評価結果(保護者アンケートより)
11月に行ったアンケートから、以下の点が明らかとなりました。

①あてはまる・ややあてはまるの割合が85%以上の項目(15→13)

- 1 学校は、各種たよりやウェブサイトで、学校の考えや様子を分かりやすく伝えている
- 2 学校は、積極的に授業公開を行っている
- 5 学校は、生徒にとって楽しく意義ある行事や体験活動を行っている
- 6 学校は、事故防止や不審者対策など、生徒の安全確保に努めている
- 7 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる
- 8 学校は、整理・整頓され、美化に努めている
- 9 学校の教職員は、礼儀正しく、親切で親しみが持てる
- 11 先生たちは、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる
- 14 担任は、お子さんが相談した時には、親切に応じてくれる
- 21 お子さんは、友達や家族などに親切にしている
- 22 お子さんは、社会生活のルールやマナーを身に付けている
- 24 学校は、一人一台端末の利用・活用に努めている
- 25 先生はお子さんの良いところを認めてくれる

③あてはまる・ややあてはまるの割合が昨年度より向上した項目(7→2)

- 1 学校は、各種たよりやウェブサイトで、学校の考えや様子を分かりやすく伝えている【+4.3p】
- 24 学校は、一人一台端末の利用・活用に努めている【+3.8p】

+3.0ポイント↑の項目

-3.0ポイント↓の項目

④あてはまる・ややあてはまるの割合が昨年度より下がった項目(1→4)

- 4 学校では、部活動が積極的に行われている【-15.4p】
- 5 学校は、生徒にとって楽しく意義ある行事や体験活動を行っている【-4.5p】
- 20 お子さんは、正しいことば遣いができている【-4.6p】
- 23 お子さんは、地域の人々との交流の場に参加している【-3.8p】

②あてはまる・ややあてはまるの割合が60%以下の項目(2→4)

- 4 学校では、部活動が積極的に行われている
- 17 お子さんは、家庭で学習をする習慣が身についている
- 18 お子さんは、読書に親しむ気持ちが高まっている
- 23 お子さんは、地域の人々との交流の場に参加している

①の「あてはまる・ややあてはまる」の割合が85%以上の項目は、25項目中13項目となりました。昨年度に引き続き、「2 学校は、積極的に授業公開を行っている」「8 学校は、整理・整頓され、美化に努めている」の2項目は特に高い評価をいただいています。今年度はこれらに加え、「1 各種たよりやウェブサイトでの発信」や「24 一人一台端末の利用・活用」も85%を超える高い評価となりました。今後も開かれた学校づくりとICT活用を推進し、よりよい環境のもとで教育活動が展開されるように努めてまいります。

③に該当する向上した項目として、「1 学校は、各種たよりやウェブサイトで、学校の考えや様子を分かりやすく伝えている」で4.3ポイント増、「24 学校は、一人一台端末の利用・活用に努めている」で3.8ポイント増となりました。情報発信の充実やデジタル化の推進が、保護者の皆様の安心感や評価につながったと考えています。

②の60%以下の項目については、昨年度と同様に「17 お子さんは、家庭で学習をする習慣が身についている」「18 お子さんは、読書に親しむ気持ちが高まっている」に加え、今年度は「23 お子さんは、地域の人々との交流の場に参加している」が該当しました。また、特筆すべき変化として「20 お子さんは、正しいことば遣いができている」の項目が昨年度より4.6ポイント減少しており、社会生活のルールやマナーへの意識向上も今後の大きな課題と捉えています。読書や家庭学習については、図書館利用の促進や教育相談での助言を通じ、学校と家庭が連携して取り組んでまいります。また、地域交流の場への参加を促すとともに、学校生活全体を通じて、正しいことば遣いや豊かな感性を育む指導に努めてまいります。

今後も、保護者や地域の方の協力をいただいで学校運営にあたります。ご協力ありがとうございました。

2025年度 学校評価(保護者)

回答: 257人 (56.1%)

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない

